

# 小学校プログラミング教育の 充実に向けて

西部教育局  
お役立ち情報  
令和2年10月号

## 「プログラミング教育」のねらい

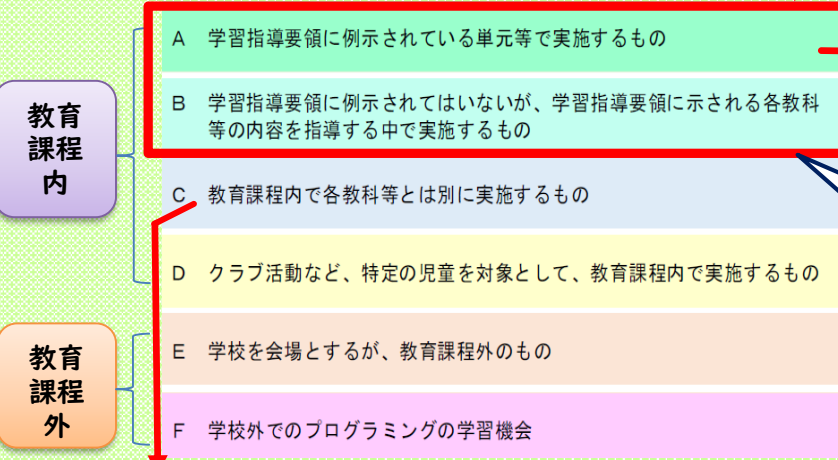
文部科学省「小学校プログラミング教育の手引き」より

### ①「情報活用能力」に含まれる以下の資質能力を育成すること

【知識及び技能】身近な生活でコンピュータが活用されていることや問題の解決には必要な手順があることに気付くこと。  
【思考力、判断力、表現力等】自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけばより意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力（「プログラミング的思考」）。  
【学びに向かう力、人間性等】コンピュータの働きを、よりよい人生や社会生活づくりに生かそうとする態度。

### ②各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等での学びをより確実なものとする

## 小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類



### 《学習指導要領の例示》

- 算数 第5学年B図形 (1)平面図形の性質
- 理科 第6学年A物質とエネルギー (4)電気の利用
- 総合的な学習の時間 情報に関する探究的な学習

**A分類もB分類も、各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等の学びをより確実なものにすることが重要です。**

## C分類

上記の「プログラミング教育」のねらいの①を育むことを目的とした上で、創意工夫により、様々な取組を実施することが考えられます。

例えば、下の図のように各教科等におけるプログラミングに関する学習活動の実施に先立って、学校の裁量で時間を確保し、プログラミング言語やプログラミングの技能の基礎について学習するために、プログラミングを体験することも考えられます。

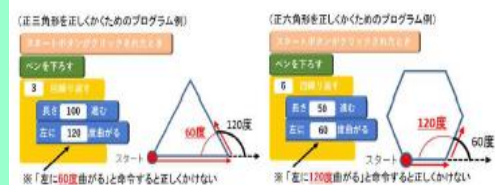
### C 教育課程内で各教科等とは別に実施するもの

算数 第5学年B図形 (1)正多角形の学習に先立って、プログラミングを体験する。



### A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの

算数 第5学年B図形 (1)正多角形の学習で、プログラミングを通して、正多角形の意味を基に正多角形をかく。



## 小学校段階のプログラミングに関する評価

プログラミングを実施したからといって、それだけを取り立てて評価したり、評定をつけたりするものではありません。

各教科等の内容を指導する中でプログラミングを実施した際の評価については、あくまでも、それぞれの教科等の評価規準により評価するのが基本となります。プログラミング教育に関わることについては、児童の学習状況を見取り、目覚ましい成長のみられる児童には、機会をとらえてその評価を適切に伝えることが望ましいと考えられます。

**ねらいや目的を明確にしてプログラミング教育に取り組んでいきましょう。**



小学校を中心とした  
プログラミング教育ポータル

Powered by 未来の学びコンソーシアム  
<https://miraino-manabi.jp/>



実践事例や、教師用研修教材などが掲載されています。ぜひ、ご活用ください。

